保険業界向け
BtoB広告をお考えの方へ

新日本保険新聞（生保版･損保版）
紙面･メルマガ広告出稿のご案内

【新日本保険新聞とは～主な購読層】

新日本保険新聞（生保版、損保版）は、昭和２２年創業の株式会社新日本保険新聞社が発行する老舗の保険業界向けの業界専門新聞です。生保版は主に、生命保険業界の多くの保険会社社員や営業職員、セールスパーソン、保険代理店、保険関連事業者などが読者です。損保版は主に、損害保険業界の多くの保険会社社員や保険代理店、保険関連事業者などが読者です。

【紙面の特徴】

紙面の内容の特徴は、生保版、損保版ともに、営業現場の役に立つような営業支援に関する情報を中心に多く記載していることです。保険代理店や営業職員、セールスパーソン、保険会社の支店課支社の社員に対してや、保険代理店が顧客に持つ中小企業などに対して、貴社のサービスなどを PR する媒体としてぜひ､ご活用ください｡また､新聞の貴社広告掲載面を二次利用するなどして、その後の販促ツールとして活用いただくこともできます。

【新聞広告(生保版、損保版)について】

発行日：毎週月曜日（4 回発行、第 5 週目の月曜日は休刊）
サイズ・ページ数：タブロイド版 10 ページ（生保版)、8 ページ（損保版）

○記事形式の広告(掲載スペース:紙面 1 ページが 10 段で換算、以下は一例）

（当社記者が取材・記事作成）
・全 3 段　110,000 円（税込み）
・全 5 段　154,000 円（同）
・全 7 段　187,000 円（同）
・全 10 段 220,000 円（同）

○一般広告出稿料金

（完全データ（画像（tiff、JPEG）または PDF にて入稿。データは広告依頼者が準備）
・全 2 段（ 70 ㍉×240 ㍉）110,000 円（税込み）
・全 3 段（105 ㍉×240 ㍉）132,000 円（同）
・全 5 段（177 ㍉×240 ㍉）220,000 円（同）

【メールマガジン広告について】

発行周期：月約 3 回、不定期

読　者　：約 12,000 通（保険代理店店主、募集人、営業職員、セールスパーソン、保険会社社員、保険関連事業者など）

○ヘッダ 6 行広告

（全角 30 文字×６行以内の広告をヘッダ枠で掲載）： 41,800 円（税込み）／1 回（１通当たり約 3.5 円程度）

○単独(号外)PR 広告

（全角 30 文字×130 行以内で PR 文を掲載（タイトル全角 20 文字まで））： 187,000 円（税込み）／1 回（1 通当たり約 15.6 円程度）

※弊社の配信システムでは半角の「&」と、アポストロフィ「`」が使用できません。とくに URL にこれらが含まれている場合は短縮 URL サービス等で変更する必要がございますのでご注意ください。

■掲載例　新聞、メルマガ

○記事広告例：損保版 2022 年 10 月 17 日号保険代理店向けＤＭ発注サービス掲載面

〈1〉第３２４４号（週刊）　新日本保険新聞　2022年(令和4年)10月17日(月曜日)　(昭和29年９月22日第３種郵便物認可)

《ダイレクトメールハガキイメージ》

保険代理店向けＤＭ発注サービスを開始

富士フイルムシステムサービス株式会社

代理店の顧客接点強化を支援

防災や防犯の喚起にも 多様な情報をラインアップ

富士フイルムシステムサービス株式会社はこのほど、保険代理店向けのダイレクトメール（ＤＭ）発注サービスを開始した。代理店に代わってハガキサイズのＤＭの作成から発送までのすべてを社が行うもので、人材面や資金面で自前でのＤＭ作成が難しい代理店の顧客接点強化を支援する。開発にあたったＣＸ営業部ＣＸ営業２課の水戸佑資課長と福原彰哉氏に聞いた。

―代理店向けのＤＭサービスを始めることにした経緯は。

水戸　きっかけは、保険代理店の方から、お客様とのきっかけづくりや接点強化が図れるようなツールとして、ハガキサイズのＤＭがあるとありがたいというお声だった。代理店さんのなかでも年に一回ほどＤＭを出しているという声は聞くが、発送先の数が多くなると費用もかさみ、自分たちでデザインを考えることも難しい。ましてや、情報提供のために定期的にＤＭを作成することはそもそもできないというのが実情だと思う。そこで、年賀状印刷などでも実績のある当社が代理店さんに代わってＤＭの作成から発送までができればよいのではと考え、このほど保険代理店用のＤＭを作成代行するサービスを始めることにした。

―掲載デザインのラインアップは。

水戸　今であれば各種自然災害や悪質な住宅修理業者による契約、中小企業向けサイバー被害注意喚起をするＤＭの作成や、生保の見計の見直しを促すＤＭ、誕生日のお祝いをはじめとしたライフイベントにまつわるものなどの情報をラインに加えていく。その際は、人の声などを掲載コンテンツを増やしたいと思った、代理店さんに用意いただいたインも使えるように対応していきたい。

福原　ＤＭにＱＲコードを付けることで、ＨＰ（ホームページ）やＳＮＳ（交流サイト）などのデジタルツールへの誘導もできる。

（損保）

第１～４月曜　発行所　新日本保険新聞社　大阪市西区靱本町１

電話　(06)6225-

○一般広告新聞掲載例（3 段分）：損保版 2022 年 10 月 10 日号外 4 面

○メルマガヘッダ 6 行広告例：12 月 2 日配信メルマガ〔別紙参照〕

単独（号外）PR 広告例：4 月 20 日配信号（日本ライフマイスター協会）〔別紙参照〕

㈱新日本保険新聞社
https://www.shinnihon-ins.co.jp/
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-5-15-6F
TEL 06-6225-0550 , FAX 06-6225-0551

〔別紙〕

●ヘッダ 6 行広告例 :12 月 2 日配信メルマガ

-広告-
▼助成金・補助金 自動診断システム「JH サポート」のご案内▼
法人開拓ツールの決定版！ 約 5,000 種類ある助成金・補助金の中から
利用可能なものを、たった 1 分で自動診断！ 業界最高水準のシステム
を業界最安の利用料で導入できます。導入ご希望の場合は弊社迄ご連絡
ください。
セブンスターズコンサルティング(株)ヘルスケア＆IT ソリューション事業部
https://sevenstars-consulting.com

●単独(号外)PR広告例 :4 月 20 日配信号(日本ライフマイスター協会)

★☆★
一般社団法人日本ライフマイスター協会リリース
公的支出適正診断システム「賢約サポート」のご案内★☆★

ご承知のように公的制度とは、健康保険や介護保険など、
国や自治体の制度のことをいいます。
一般消費者にとっては大事な存在であるにもかかわらず、
内容が複雑であるため知識不足な点は否めません。
各種公的制度をワンストップで役所が教えてくれれば
よいのですが、日本の行政は縦割りの傾向が強く、
横串で利用者に分かりやすく教えてくれる所が少ないのが実情です。

こうした状況を問題視し、一般消費者に各種公的制度を
わかりやすく説明できるような、いわば公的制度の専門家の
輩出・育成に取り組むのが日本ライフマイスター協会です。

日本ライフマイスター協会ではこのほど、税金・保険料・
医療費・介護費などの公的支出額が適正かどうかなどを
一元的に診断する仕組みを開発しました。
民間保険制度と公的制度は車の両輪といえます。
保険募集のプロとして、公的支出診断を自身の高付加価値に
することで、他との差異化が図れるのではないでしょうか。

以下、日本ライフマイスター協会より

日本ライフマイスター協会の藪内祐子さんは元公務員で、
税金、年金、健康保険、介護保険の窓口をそれぞれ経験した、
珍しい経歴の持ち主です。
まさに、公的制度の唯一のプロと言えると思います。
そんな、藪内さんに誰もが公的制度について相談できる
システムがあります。それが賢約サポートシステムです。

介護費用など、生活にお困りの方から賢約サポートシステムを使って、
情報をお聞きする。
その情報を藪内さんが診断して、公的制度を活用した最適な
公的支出の削減方法をシステム上で回答する。
公的支出のプロになることが公的制度のプロになる第一歩です。

このシステムを導入すれば、公的支出のプロになれます。

これからの時代に必要な、お客さまに喜ばれるシステムです。

藪内さんと賢約サポートシステムについて、
詳しくはこちらをご確認ください。
https://life-meister.or.jp/bsnh/

.....
なお、このメールは、当社の保険セールスパーソン向け
メルマガ配信システム【顧客フォロー.com】から配信しています。